

## 数字で見るアフガニスタン

➔ **340万人**

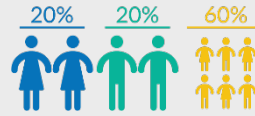
2021年11月15日時点、アフガニスタンの紛争により発生した国内避難民の推定人数<sup>1</sup>

➔ **220万人**

2020年12月31日時点、近隣国へ避難したアフガン難民・庇護希望者の推定人数

➔ **66万7,903人**

2021年1月1日以降、紛争により新たに発生した国内避難民の推定人数<sup>2</sup>



➔ **7万2,377人**

2021年11月2日時点、国内にいる難民・庇護希望者の数

➔ **6万8,330人**

2021年1月1日以降、国際的な保護を必要とし、新たに近隣国へ逃れたアフガン難民の推定人数<sup>3</sup>

## 概要

- 報告期間中のアフガニスタンの活動状況は安定している。非国家主体によって国の治安に対する懸念がいくつか引き起こされたものの、アフガニスタンのほぼすべての州で人道支援と保護活動が継続されている。
- アフガニスタンの治安情勢が安定したことに伴い、今年紛争によって発生した国内避難民66万7,900人のうち、約16万9,000人が9月以降出身地域へ帰還しているとUNHCRは推計している。このうち、36%が南部地域、35%が北東部地域に帰還している。
- 報告期間中、アフガニスタンにおけるUNHCRの緊急対応は、寒さの厳しい冬への備えを中心にさらに拡大した。2021年初等以来、UNHCRは6万2,700人以上の国内避難民とその他支援を必要とする人々に越冬支援を提供し、合計約62万3,200人を支援している。この支援には以下の物資とサービスが含まれる：

### 2021年：UNHCRの緊急支援活動の概要 (11月15日時点)



支援対象者  
9万2,700人 | 62万3,200人\*



支援対象地域  
29 | 34



主要な援助物資の受給者  
9,900人 | 26万1,100人



越冬用の現金給付支援の受給者  
5万100人 | 6万2,700人



保護を目的とした現金給付の受給者  
9,600人 | 4万4,500人



シェルター・家賃のための現金給付支援の受給者  
1万1,100人 | 2万3,800人



ソーラーパネル配布の支援対象者  
1,100人 | 1万5,000人



帰還後の社会復帰を目的とした現金給付支援 (CARE) の受給者  
1,700人 | 8,000人

凡例：報告期間中（11月1日～15日）の支援対象者数 | 2021年の支援対象者数

\*支援対象者の合計には、1つ以上の支援口の対象となった人が複数回数えられている可能性がある。

- UNHCRは、国内避難民と脆弱な立場にある人々に対する現金給付を強化しており、報告期間中に保護、家賃、越冬支援、生計向上、帰還後の社会復帰などを目的とした現金を約8万人が受け取っている。以前カブールへ逃れてきた国内避難民約1,700人の社会復帰に向けた現金給付もこれに含まれ、帰還民は出身地への再統合支援として、1世帯につき約400ドルを受け取った。
- 報告期間中、事実上の当局とアクセスに関する交渉が続く中、UNHCRは支援現場でのすべての保護活動を再開することができた。事実上の当局は、直近に女性の人道支援スタッフが職場復帰することを認可し、以来UNHCRの多くの女性スタッフも復帰することができている。しかしこの一方で、いくつかの支援現場では女性スタッフがいまだに困難に直面しており、必要に応じてUNHCRと国連システム全体でモニタリングと事実上の当局に対するフォローアップを行っている。

発行日：2021年11月22日 | 著者 UNHCRアジア太平洋地域局

<sup>1</sup> 2020年末時点の国内避難民290万人（出典：UNHCR）と、1月1日以降紛争により新たに発生した国内避難民（出典：OCHA）を含む推定人数。出身地域に帰還した国内避難民を除く（出典：UNHCR）。

<sup>2</sup> 出典 OCHA : <https://www.humanitarianresponse.info/en/operations/afghanistan/idps>

<sup>3</sup> 新規入国者には、タジキスタン（5,600人）やイラン（2万2,090人）でUNHCRやパートナー団体に接触した人、パキスタン（3万7,000人）で主に関係者への聞き取り調査により把握している数、さらに2021年1月1日以降、国境付近でイラン当局により拘禁されていたアフガン人（3,650人）のデータが含まれるが、後者グループのうち現在もイラン国内にとどまっているのは601人。インタビューを受けた人の大多数は、安全上の懸念を理由にアフガニスタンを離れたと回答。国際的な保護を必要とするアフガン人の全体数はさらに多いと推定される。全体数の増加は、必ずしも同時期の避難民数に比例しているわけではなく、あくまでも評価日の統計データを反映している。













[写真] 家賃補助のための現金の受け取りを待つアフガン難民 © UNHCR/Tony Aseh

- このことを考慮し、UNHCRは報告期間中の保護活動も拡大した。報告期間中、UNHCRは1万1,000世帯以上と接触し、国内避難民やその他の国中で脆弱な立場に置かれた人々のニーズを理解するために世帯調査を実施した。同様に、UNHCRはそれぞれの州で約1,900人に社会心理的サポートを提供した。また、8000件の保護に関する問い合わせを緊急電話窓口で受け取り、個人の状況に応じた案内、ガイダンス及び支援を提供している。
- これらの調査と保護活動から、多くの調査対象者が職を失っていることが報告されており、女性を中心に貧困と経済的なストレスに直面していることが最大の課題であることが明らかとなった。これは、アフガニスタン全土における経済危機についての報告と一致している。

## 地域情報

- UNHCRはパートナーとの連携のもと、近隣国のパキスタン、イラン、タジキスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタンにおいて「アフガニスタン情勢に対する2022年度地域難民対応計画（RRP 2022）」の策定を主導している。包括的かつ参加型のプロセスである本計画は、幅広いパートナーシップに基づくものである。計画の継続的な策定の一環として、UNHCRは受け入れ国の政府との協議のもと、各国の国連機関やNGOパートナー団体と協力している。本計画は「難民に関するグローバル・コンパクト」に沿ったコミュニティに対する投資の強化と、「アフガン難民のための解決策戦略（SSAR）」で示された解決策に向けて取り組むことで、地域のさまざまなステークホルダーやセクターとの連携の重要性を示している。さらに、本計画は政府の対応策と連携し、アフガン難民や受け入れコミュニティのレジリエンス（生き抜くチカラ）の支援を含む保護活動、人道支援や緊急対応の準備を保障するものである。
- こうした状況を背景に、UNHCRは今年新たに近隣国に逃れ、国際的な保護を必要とする可能性のあるアフガン人を6万8,330人記録している。イランの新規入国者のうち子どもが47%、女性が26%、パキスタンでは子どもが50%、女性が25%に上る。さらにタジキスタンへ逃れたアフガン人のうち、女性が31%、子どもが40%を占めると報告されている。UNHCRやパートナー団体と接触していない人を考慮すると、国際的な保護を必要とするアフガン人の実際数はさらに多いと推定される。さらに、UNHCRの調査に応じた人の大多数は、安全上の懸念を理由にアフガニスタンを離れたと報告している。イランとパキスタンで行われた新規入国者への聞き取り調査からは、シェルター、食料、身分証明書や登録書、生計向上など、生活再建に向けた基礎的な支援を必要としていることが明らかとなった。この中でも、渡航書類を所持していないイラン在住のアフガン人の多くは、拘留やアフガニスタンへの強制送還の可能性に対する懸念を訴えている。

- アフガニスタンとパキスタン・イラン間の国境通過地点では、パスポートや有効なビザを所持する場合を除き、依然として閉鎖が続いている。パキスタンとアフガニスタンの国境を跨ぐチャマン・スピン・ボルダック通過地点では、1ヶ月近い閉鎖の末、11月2日から歩行者の往来や交易などが再開された。以来、パキスタンとの双方向の移動が再開され、有効なビザとアフガニスタンのパスポートを持つアフガン人が1日に約500人パキスタンに入国している。パキスタン当局は、カンダハールやスピン・ボルダックからアフガン人の身分証明書（Tazkira）を所持する者の入国を許可しているほか、緊急性の高い治療を必要とする人々に対しても入国を許可している。行政上の手続きを済ませた上でも、アフガン人は国境を越えるまでに数日待たされることが多い。報告期間中、アフガニスタンとパキスタンを結ぶもう1つの主要な通過地点のトルハムでは、パキスタンのビザやアフガニスタンのパスポートを持つ人は引き続き入国ができる。
- イランでは、アフガニスタンとの国境を跨ぐ検問所をほとんど閉鎖している（アフガニスタンのパスポートやイランへの有効なビザを所持する場合を除く）。同時に現地メディアは、イラン当局の情報をもとに、1日あたり5,000人以上のアフガン難民がイランに新たに越境していると推定している。
- UNHCRは各国に対し、安全を求め避難する人々のために国境を開放しておくよう引き続き呼びかけるとともに、関係当局に対して、「アフガニスタンへの帰還に関するUNHCRの見解」に従い、アフガン人の強制送還を禁止するよう再度注意を呼びかけた。UNHCRは報告期間中、1日平均3,200人のアフガン難民がイランから強制送還されていることを確認している。また、タジキスタンからは11人が強制送還されたと報告されている中、45世帯が依然として強制送還の危険にさらされている。パキスタンからは、9月と10月に約1,800人が強制送還された。
- UNHCRは地域の緊急対応計画の一環として、すでに避難をしているアフガン人や新たに避難するアフガン人のニーズに備え、以下の緊急援助物資を備蓄または調達している：

	アフガニスタン	イラン	パキスタン	タジキスタン
 ブランケット	33,400 / 266,700	9,600 / 31,900	49,800 / 130,200	3,300 / 12,600
 バケツ	45,100 / -	- / 14,000	22,400 / 10,600	700 / 2,500
 家族用テント	14,200 / 12,000	1,900 / 2,500	8,000 / 6,500	600 / 2,600
 給水用ポリタンク	31,000 / 117,900	4,200 / 32,800	16,900 / 17,200	1,300 / 5,100
 調理器具セット蚊	12,200 / 37,400	1,800 / 6,200	5,600 / 15,000	700 / 2,500
 帳		- / 20,000	27,600 / 307,400	
 敷布団		14,100 / 27,700	50,500 / 39,500	3,300 / 12,600
 防水シート	34,500 / 103,200	5,000 / 19,000	13,200 / 6,800	- / 6,400
 石鹸	343,000 / -	190,000 / -	45,400 / -	13,000 / -
 生理用ナブキンの布	37,100 / 117,800	650,000 / -	70,500 / 199,500	

